

旭川水系
川づくりに関するアンケート調査結果について

平成24年3月29日

国土交通省 中国地方整備局

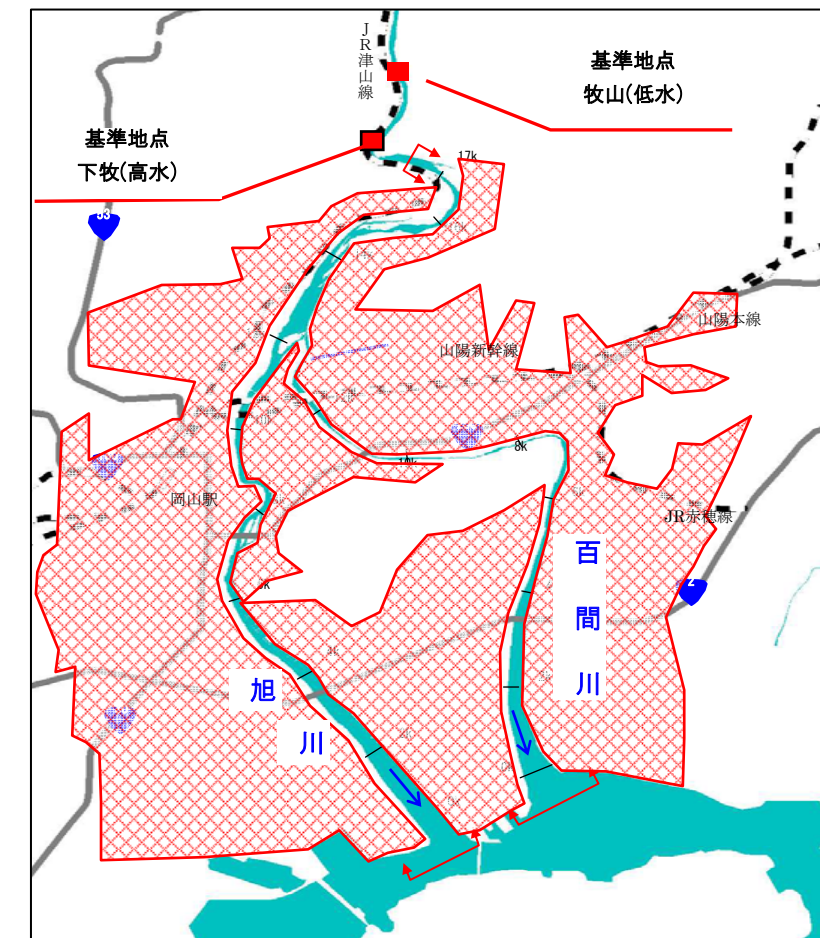
アンケート調査結果の概要

- 旭川水系の川づくりに関するアンケート調査は、旭川・百間川の河川の現状に関する住民意見を把握するため平成20年3月～11月に実施したが、今回、前回のアンケート実施後、平成23年9月台風12号や平成23年3月11日東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）が発生したことから、河川整備や防災に関する住民意識の変化を把握するため、再度、アンケートを実施した。
- 今回の設問項目は、平成20年に実施した前回の設問項目に加え、東北地方太平洋沖地震の発生を踏まえ、地震・津波に関する設問項目を追加し実施した。

前回と今回のアンケート概要の比較

項目	前回アンケート	今回アンケート	備考
実施期間	平成20年3月～ 平成20年11月	平成23年11月～ 平成23年12月	平成23年9月(台風12号)、東日本大震災後の住民防災意識の変化等を把握
配布方法	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞折り込み：3月 ・小中学校での配布：4月 (小学校45校、中学校22) ・関係機関での常設 ・事務所HP ・イベントでの配布（4月、11月） ※新聞折込は、山陽・毎日・読売・朝日、産経の各社	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞折り込み：12月 ・事務所HP ※新聞折込は、山陽・毎日・読売・朝日、産経、日経、中国新聞の各社	広く一般住民の意見を聴取するため、新聞折り込みによる配布と事務所HPによる意見募集を実施
配布区域	旭川水系国管理区間の想定氾濫区域内*)	旭川水系国管理区間の想定氾濫区域内*)	国管理区間の想定氾濫区域における住民意見を聴取
配布数	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞折込：19万部 ・小中学校等配布：4万部 	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞折込：17万部 	国管理区間の想定氾濫区域を対象に配布
回収数	2,969部 回収率1.3%	2,844部 回収率1.7%	

アンケート配布区域



注*)  想定氾濫区域

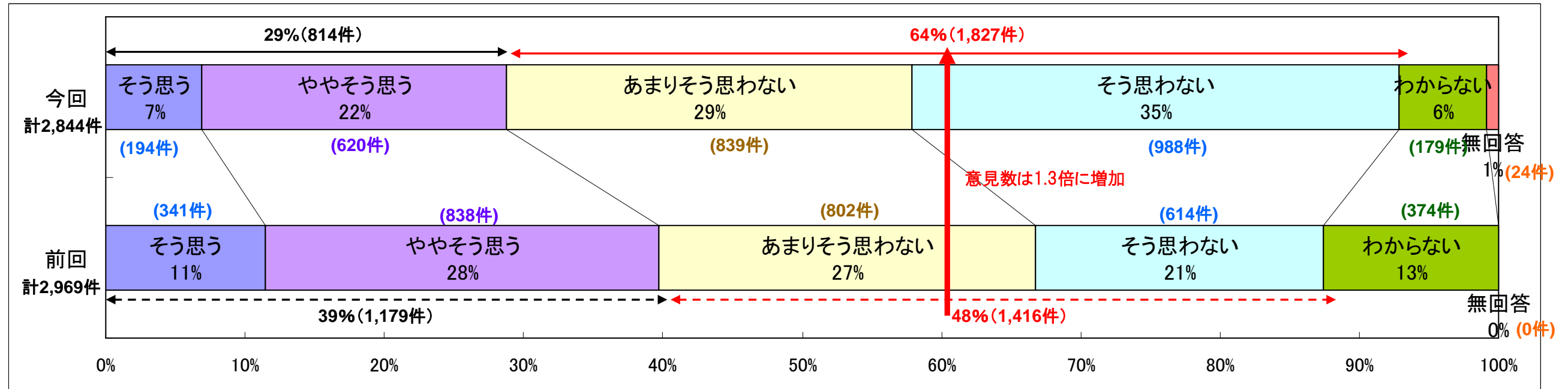
アンケート調査結果の分析

- 治水に関する設問に対して、前回と今回では異なった傾向がみられる。
- 地震・津波の具体的な対策では、「津波の安全な遡上対策の実施」、「迅速な情報提供」、「避難所の確保など被害軽減に向けたまちづくり」、「河川管理施設の耐震対策」、「住民の防災意識の向上」等が必要と考えている住民が多い。

アンケート結果の概要(1/6)

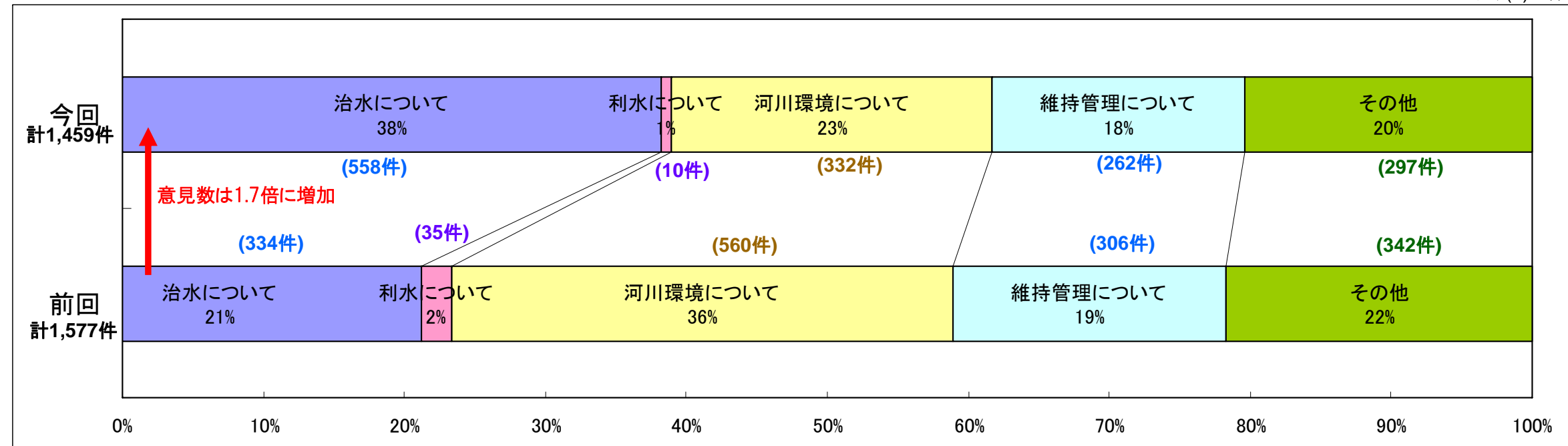
洪水・高潮に対して安全な川だと思うか。

・「そう思う」、「ややそう思う」が前回より減少し（前回39%→今回29%）、「そう思わない」、「あまりそう思わない」という意見数が前回の約1.3倍に増加している（前回48%→今回64%）
注)()の件数は意見数を表す



自由意見の分類結果

・自由意見数全体は、前回：1,577件に対して今回：1,459件に減少したが、治水に関する意見数は前回より約1.7に増加した（前回21%→今回38%）。
注)()の件数は意見数を表す



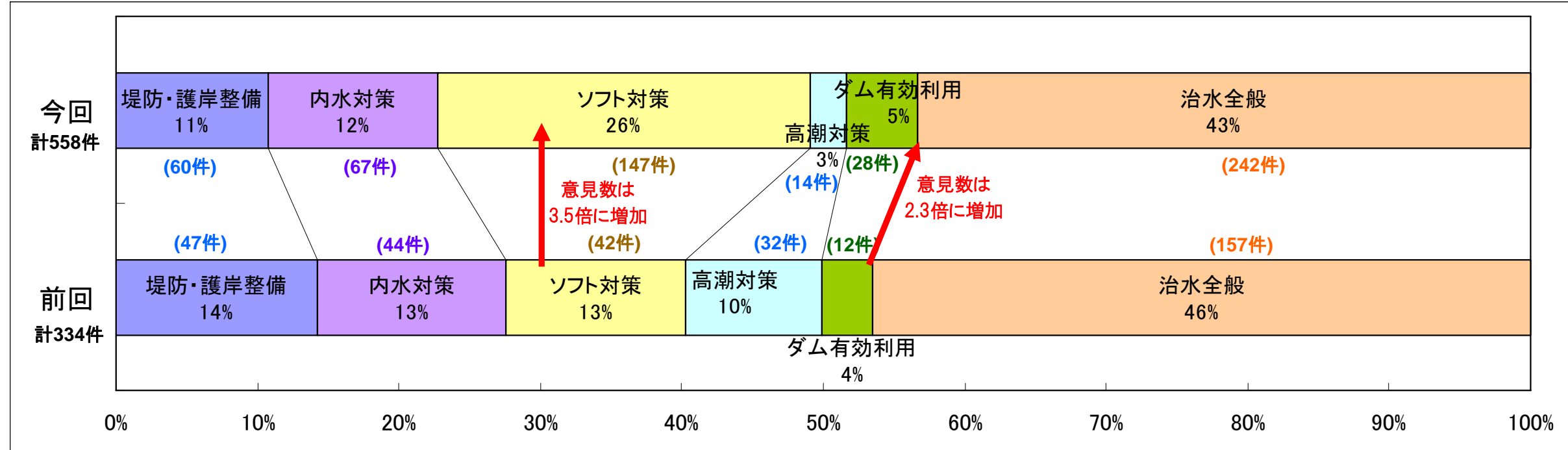
アンケート調査結果の概要

アンケート結果の概要(2/6)

自由意見の治水に関する意見内容

- ・ 治水の意見数全体が、前回：334件から今回：558件になり、約1.7倍に増加している。「堤防・護岸整備」、「内水対策」、「高潮対策」に対する意見の割合が減少し、「ソフト対策」に関する意見が増加している。「ソフト対策」に対する意見数は前回42件→今回147件となっている。東日本大震災や今年の台風12号の被害を踏まえ、ハード対策の限界やソフト対策の重要性が認識された結果であると考えられる。
- ・ 「ソフト対策」に関する意見の代表的なものは、「岡山県は災害が少ないと言われており、住民の防災意識が低い。低い土地に住んでいるため、洪水・高潮・地震・津波に対して意識改革が必要である」、「地震・津波に対する避難ルート、避難所、高台の所在などの避難情報を教えて欲しい」、「洪水・高潮時の水位情報をリアルタイムで知りたい」、「防災マップの周知がなされていない、マップが見にくい」などである。

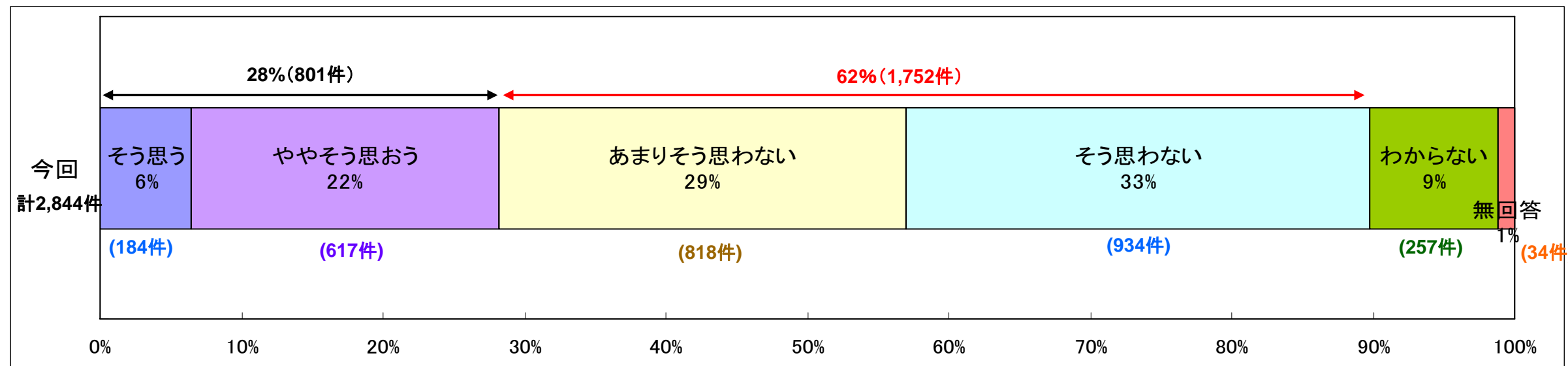
注)()の件数は意見数を表す



地震・津波に対して安全な川だと思うか。

- ・ 「そう思う」、「ややそう思う」が28%に対して、「そう思わない」、「あまりそう思わない」が62%を占め、半数以上が安全でないと感じている。

注)()の件数は意見数を表す

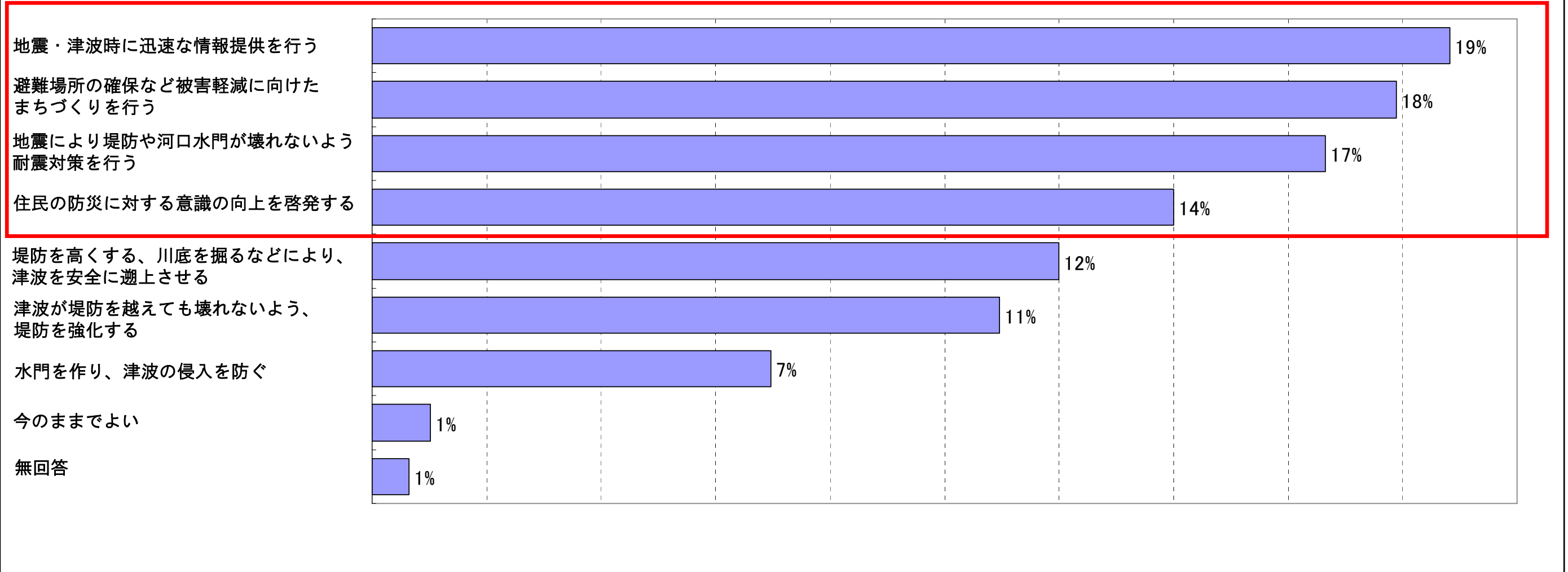


アンケート調査結果の概要

アンケート結果の概要(3/6)

地震・津波に対してどのような対策が必要だと思うか。

- ・「津波の安全な遡上対策の実施」、「迅速な情報提供」、「避難所の確保など被害軽減に向けたまちづくり」、「河川管理施設の耐震対策」、「住民の防災意識の向上」等が必要と考えている住民が多い。



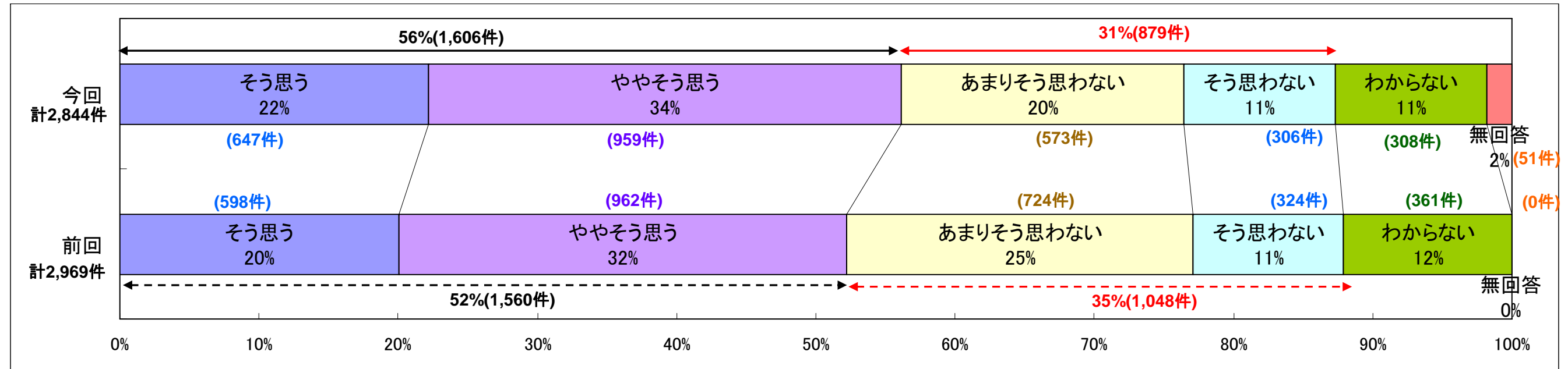
アンケート調査結果の概要

アンケート結果の概要(4/6)

【水利用】 渇水対策は十分だと思いますか。

・ 渇水対策が十分かどうかについては、「そう思う」、「ややそう思う」または「そう思わない」、「あまりそう思わない」とも前回同程度の割合であり、傾向は変わっていない。

注) ()の件数は意見数を表す



【水利用】 今後、旭川・百間川の水不足対策（渇水対策）として、どのような対策が必要だと思いますか。

・ 前回、今回とも概ね同様の傾向であり、「水利用の調整のための体制づくり」、「普段からの節水」、「上工農水等の各用水に対する水利用の適正化を図る」に対する意見の割合がそれぞれ約20～30%を占める。

水不足時に迅速な水利用の調整ができるような体制づくりを行う

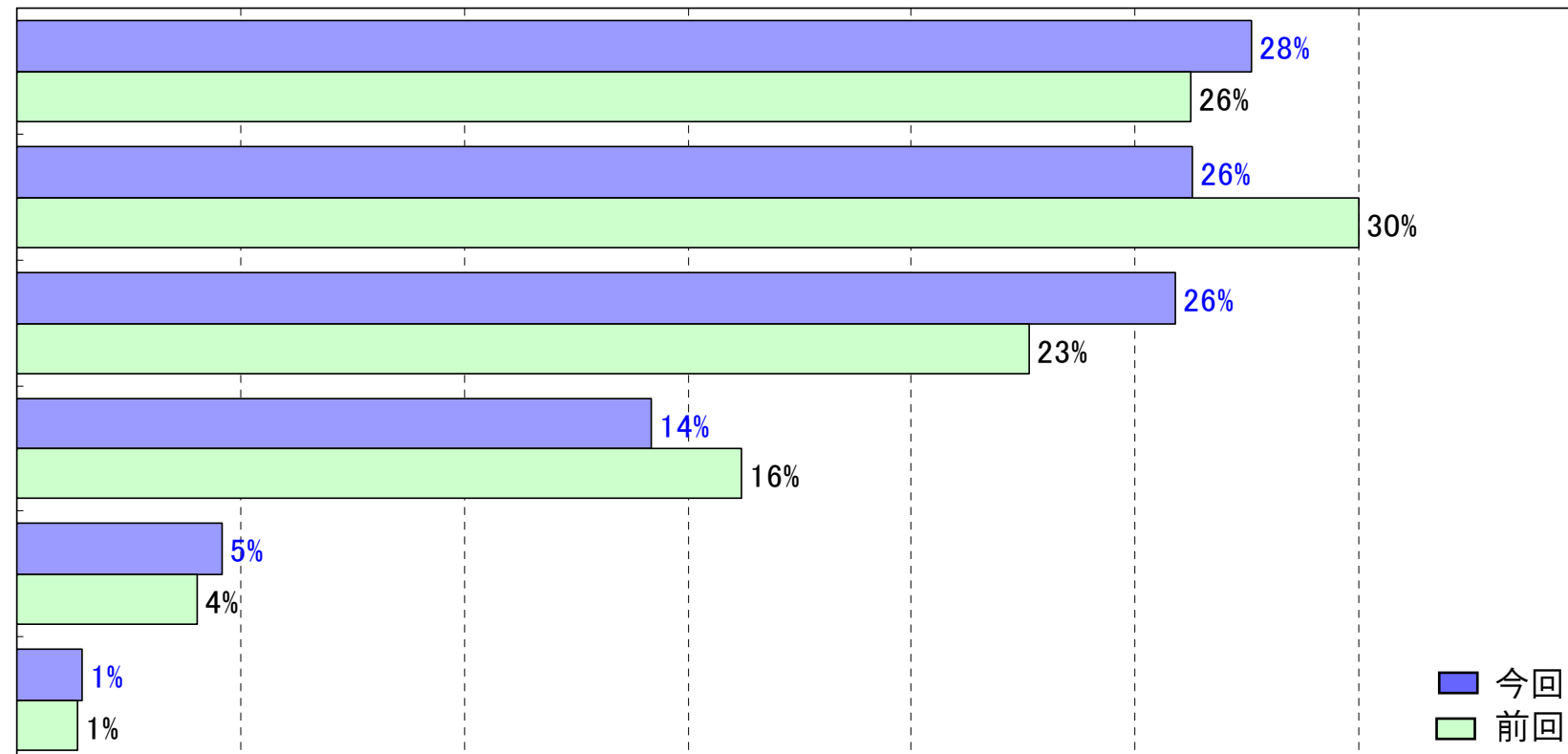
普段から水利用者が節水を心掛ける

都市用水（上水道、工業用水）、農業用水、発電用水などの水利用の適正化を図る

ダムにより水量を貯めておく

今のままでよい

無回答



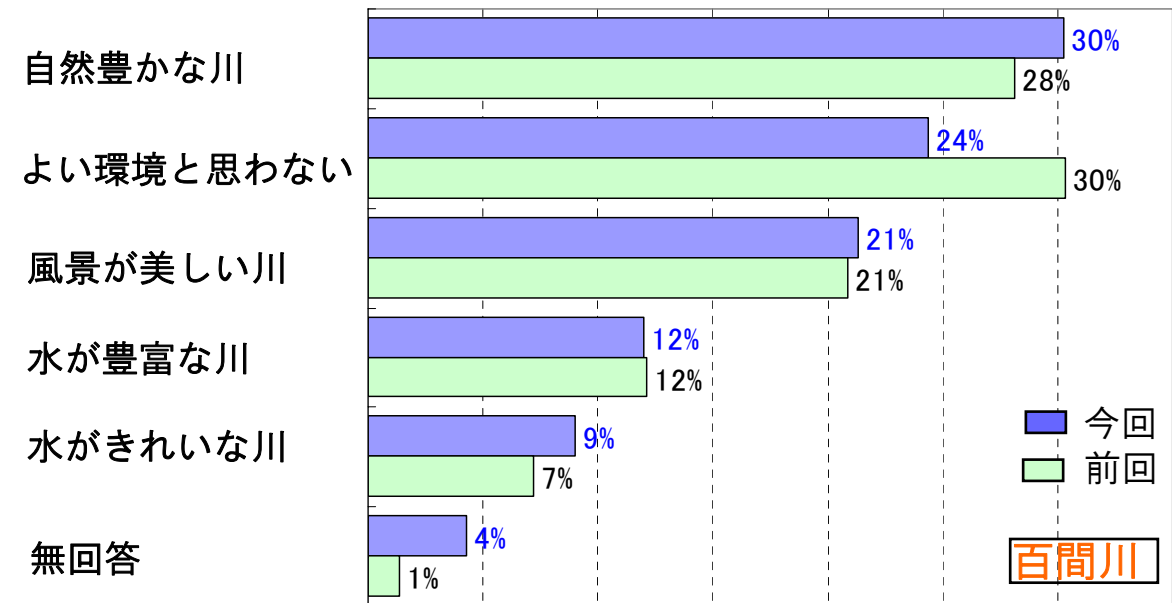
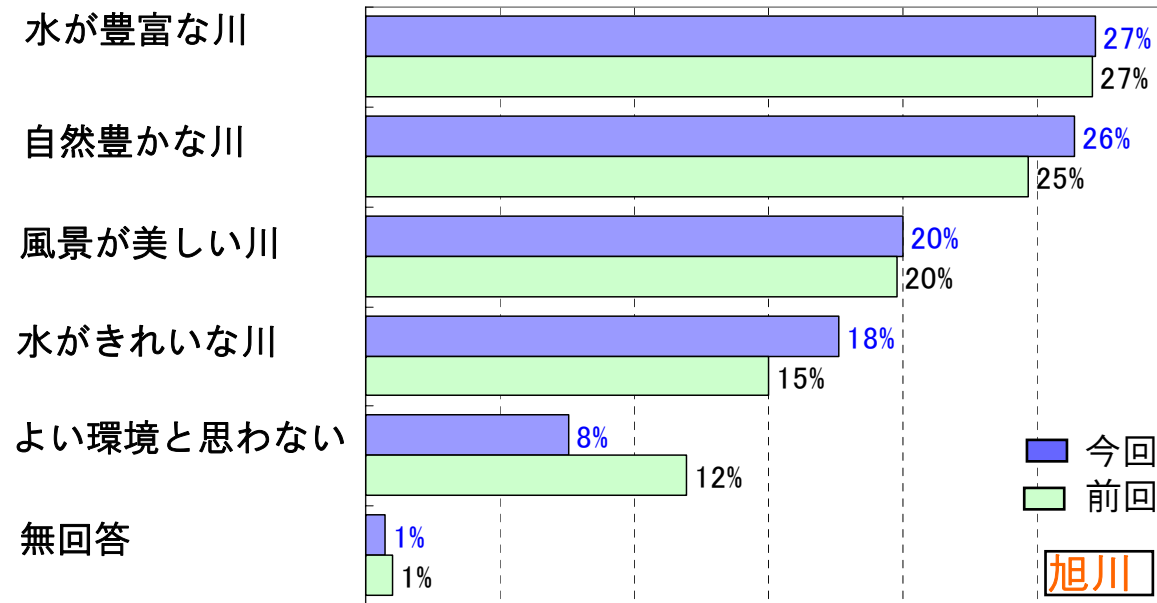
アンケート調査結果の概要

アンケート結果の概要(5/6)

【河川環境】

現在の旭川・百間川の環境をどう思いますか。

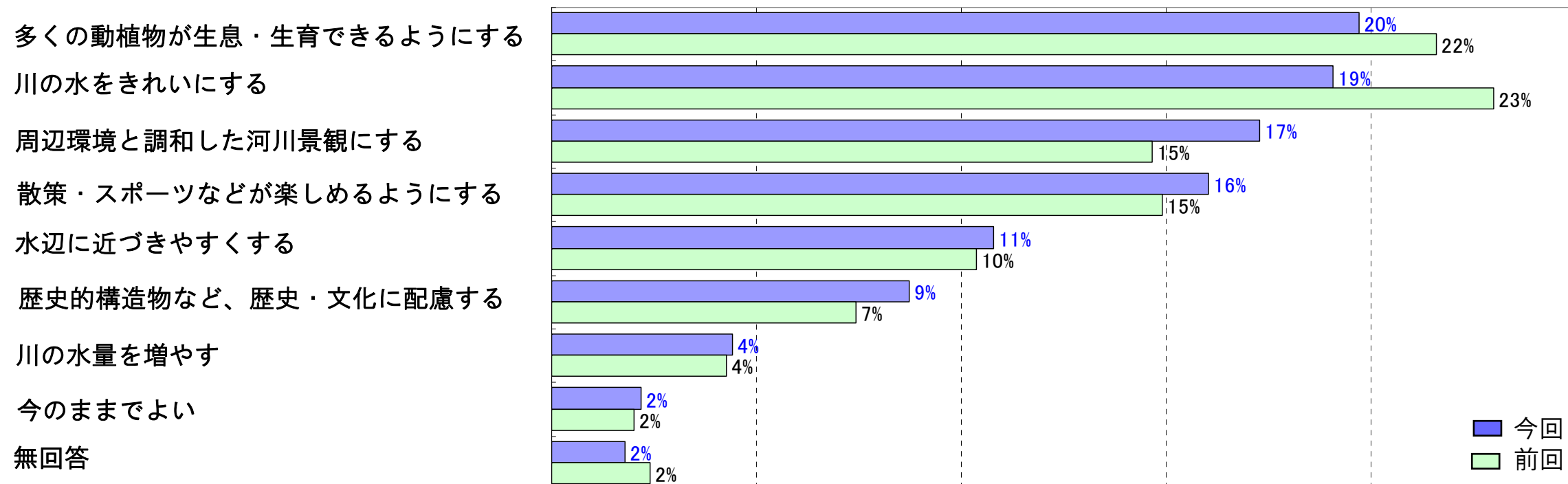
- ・旭川は前回、今回とも同様の傾向であり、「水が豊富な川」、「自然豊かな川」、「風景が美しい川」が上位3位であり、それぞれ20～30%を占める。
- ・百間川は、前回、今回とも「自然豊かな川」、「よい環境と思わない」、「風景が美しい川」が上位3位である。前は、「よい環境と思わない」が約30%で最も多くを占めていたが、今回は、「自然豊かな川」が約30%で最も多くを占める。



【河川環境】

今後、旭川・百間川をよりよくするためには、何が重要だと思いますか。

- ・前回、今回とも「多くの動植物が生息・生育できるようにする」、「川の水をきれいにする」、「周辺環境と調和した河川景観にする」、「散策・スポーツなどが楽しめるようにする」に対する意見の割合が高く、それぞれ15～25%を占める。



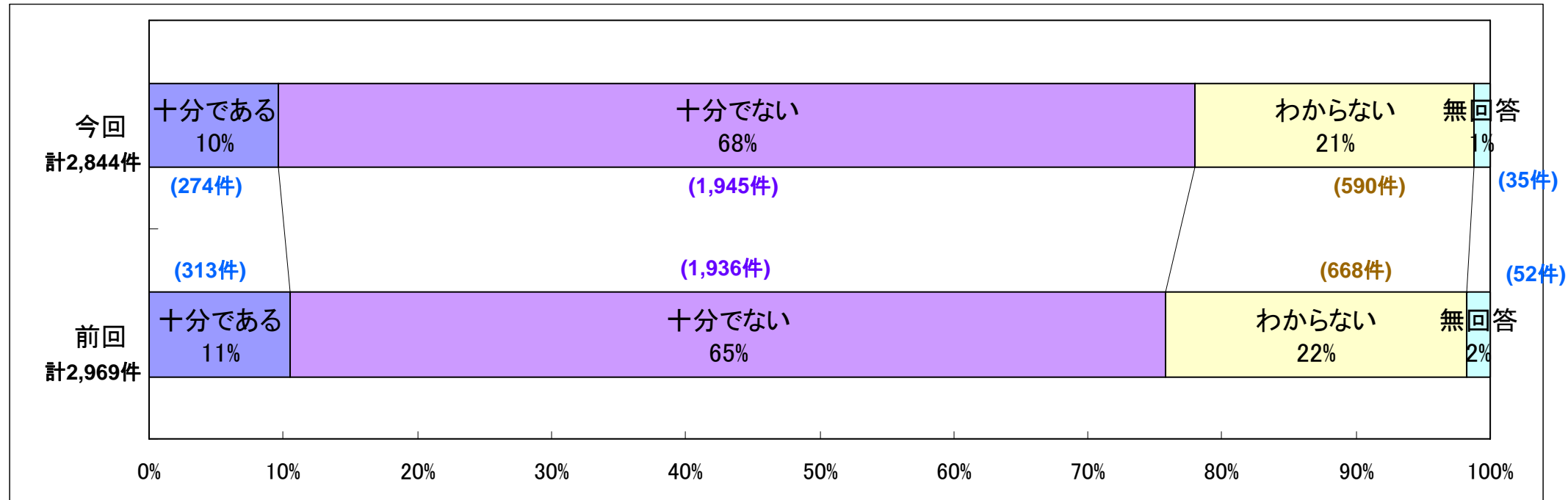
アンケート調査結果の概要

アンケート結果の概要(6/6)

【河川管理】現在の河川管理は十分だと思いますか。

・前回、今回とも河川管理が「十分でない」と感じている意見が約70%を占める。

注)()の件数は意見数を表す



【河川管理】管理が十分でない項目は何ですか。

・前回、今回とも「河川敷や河川堤防沿いの雑草・ゴミを取り除く」、「河川パトロールの強化する」に対する意見の割合が高く、それぞれ約30%を占める。

